

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム きもりの家

**目標達成計画書**

作成日: 平成 27 年 11 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策対策	年に2回避難訓練を実施しているが、夜間、夜勤者2人で、18名の利用者を安全に短時間で、避難誘導できるように取り組み、避難場所での利用者の見守りを誰にお願いするか等を確認し、いざという時の非常時に備えていく。	避難誘導時間の目標タイムを掲げ、夜勤者を中心に頻繁に避難訓練を職員2人で、一人が利用者になって行い、各ユニット毎にタイムを記録し、夜勤者が自信をもって利用者を避難誘導できる体制を整えていく。	12ヶ月
2	38	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	ベテラン職員が多いので、利用者と職員の関係は深い信頼に包まれているが、親しくなりすぎることもあり、利用者のプライドや羞恥心、恐怖心を理解して、職員が意識して介護サービスの提供に取り組んでいく。	共同生活の中で、利用者のプライバシーを守る介護の難しさを、職員全員が理解し、利用者一人ひとりの価値観や生活習慣を把握して、利用者本位の介護を実践し、利用者や家族の満足に繋がる介護サービスの提供を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。